

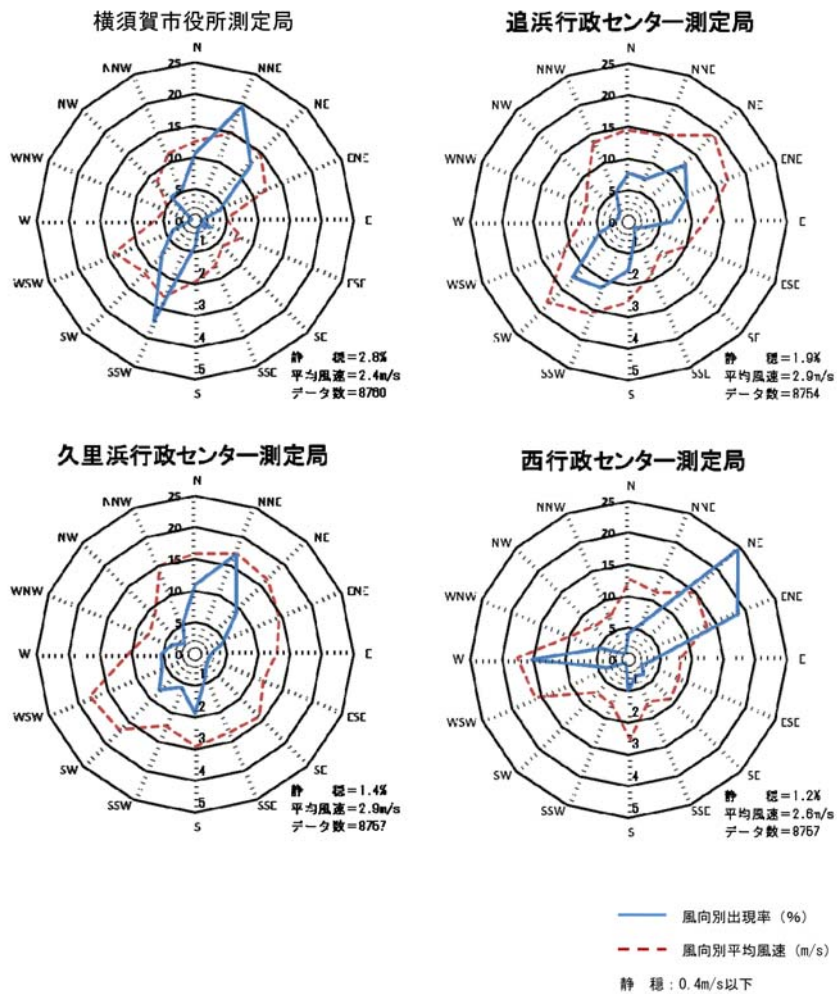
2 自然的状況

(1) 気象

ア 風向・風速

実施区域周辺の一般環境大気測定局の平成 21 年度の年間風配図は図 2-2-15 に示すとおりである。

横須賀市役所測定局での年間平均風速は 2.4m/s、最多風向は北北東で 19.7%、追浜行政センター測定局での年間平均風速は 2.9m/s、最多風向は北東で 12.7%、久里浜行政センター測定局での年間平均風速は 2.9m/s、最多風向は北北東で 17.1%、西行政センター測定局での年間平均風速は 2.6m/s、最多風向は北東で 24.5%となっている。



出典：「よこすかの環境 平成 22 年度版」横須賀市

図 2-2-15 風配図（一般環境大気測定局、平成 21 年度）

イ 気温、湿度、降水量

海上自衛隊横須賀地方総監部における平成 19 年から平成 22 年の気象の概要を表 2-2-33 に示す。

平成 22 年の年間平均気温は 16.9℃、年間降水量は 1,506.6mm であった。また、月別日平均気温は、8 月の 28.4℃が最も高く、2 月の 7.4℃が最も低かった。月別降水量では、9 月の 342.4mm が最も多く、10 月の 0.0mm が最も少なかった。

表 2-2-33 気象の概況

年次	気温(℃)			平均湿度 (%)	降水量(mm)
	日平均	最高	最低		
19	16.9	36.1	0.8	71	1,592.4
20	16.4	34.5	-1.1	72	1,763.2
21	16.7	32.7	-0.4	73	1,837.7
22	16.9	36.3	0.2	73	1,506.6
1月	7.8	18.3	0.5	56	21.2
2月	7.4	19.7	0.2	73	145.7
3月	9.8	21.7	2.1	72	203.0
4月	12.8	23.7	3.0	74	187.2
5月	18.4	28.4	10.5	73	109.9
6月	22.6	30.8	12.8	81	174.4
7月	27.0	35.0	21.5	82	114.8
8月	28.4	36.3	23.6	81	62.6
9月	24.8	34.8	14.6	80	342.4
10月	19.2	27.8	10.2	80	0.0
11月	14.0	21.9	7.8	68	54.6
12月	10.6	23.1	2.3	54	90.8

資料:海上自衛隊 横須賀地方総監部

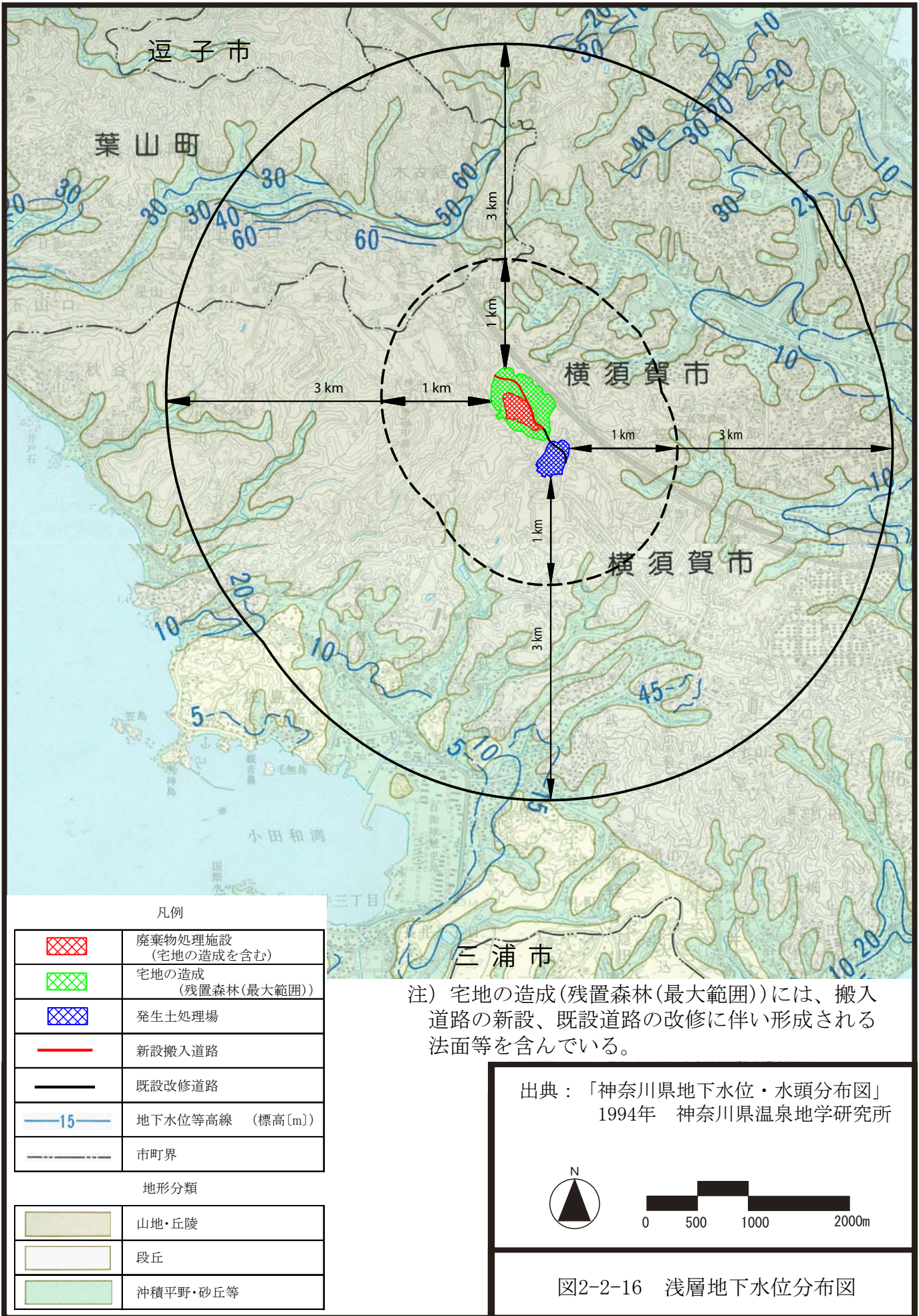
出典:「気象概況」 横須賀市ホームページ

(2) 水象

ア 地下水及び湧水の分布状況

「神奈川県 地下水位・水頭分布図」による実施区域周辺の地下水位の状況は、図 2-2-16 に示すとおりであり、地下水位は、標高で 10m 以上となっている。地下水の流向については、地形及び河川流域界（前掲図 2-2-6 (p. 2-25) 参照）及び図 2-2-16 より判読すると、実施区域の地下水は南西方向へ流下していると思われる。

なお、本市では水道水として走水水源地で湧水を利用しているが、実施区域周辺には湧水として目立った箇所は見られない。



イ 河川流量

実施区域周辺の河川調査地点の平成 21 年度における河川流量の調査結果は表 2-2-34(1/3)～(3/3)に示すとおりである。

表 2-2-34(1/3) 河川流量 (年間：平成 21 年度)

地点 番号	項目 河川・調査地点			最大値 (m ³ /s)	最小値 (m ³ /s)	平均値 (m ³ /s)	測定回数 回	測定機関
	水域名称	類型名称	地点名称					
①	松越川	河川E	竹川合流後	1.345	-0.579	0.264	24	横須賀市
⑦	平作川	河川B	夫婦橋	39.720	-11.930	2.638	24	

注) 地点番号は図2-2-10(p. 2-49)に対応する。

出典：「平成 2 1 年度 神奈川県水質調査年表」 平成23年2月 神奈川県環境科学センター

表 2-2-34(2/3) 河川流量 (松越川：平成 21 年度)

項目 河川・調査地点			採取年月日	採取時刻	採取位置	天候	前日天候	気温 (°C)	水温 (°C)	流速 (m/s)	流量 (m ³ /s)	測定機関
水域名称	類型名称	地点名称										
松越川	河川E	竹川合流後	平成21年4月20日	10:00	流心 (中央)	晴	降雨なし	20.7	20.5	0.051	0.077	横須賀市
				16:00	流心 (中央)	曇	降雨なし	21.9	20.1	0.059	0.090	
			平成21年5月13日	10:00	流心 (中央)	曇	0mm以上5mm未満	24.9	21.6	0.152	0.274	
				16:00	流心 (中央)	晴	0mm以上5mm未満	26.8	26.1	0.133	0.257	
			平成21年6月3日	10:00	流心 (中央)	曇り	降雨なし	22.0	20.8	0.147	0.277	
				16:00	流心 (中央)	曇り	降雨なし	22.1	24.0	0.087	0.453	
			平成21年7月8日	10:00	流心 (中央)	晴れ	0mm以上 5mm未満	25.9	24.7	0.131	0.245	
				16:00	流心 (中央)	雨	0mm以上 5mm未満	24.5	25.6	-0.197	-0.089	
			平成21年8月5日	10:00	流心 (中央)	曇り	降雨なし	30.5	27.1	0.083	0.134	
				16:00	流心 (中央)	曇り	降雨なし	28.6	30.1	-0.018	-0.160	
			平成21年9月2日	10:00	流心 (中央)	曇り	降雨なし	24.6	22.6	0.218	0.460	
				16:00	流心 (中央)	曇り	降雨なし	23.3	24.3	0.054	0.678	
			平成21年10月13日	10:00	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	22.2	20.1	0.050	0.207	
				16:00	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	22.5	21.5	0.044	0.334	
			平成21年11月19日	10:00	流心 (中央)	曇り	降雨なし	10.1	13.4	0.103	0.508	
				16:00	流心 (中央)	雨	降雨なし	8.5	12.6	0.075	0.629	
			平成21年12月2日	10:00	流心 (中央)	快晴	降雨なし	14.2	14.0	-0.088	-0.523	
				16:00	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	17.9	14.5	-0.032	-0.579	
			平成22年1月6日	10:00	流心 (中央)	快晴	降雨なし	10.0	8.0	0.147	1.345	
				16:00	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	9.5	8.2	0.113	0.126	
			平成22年2月3日	10:00	流心 (中央)	晴れ	0mm以上 5mm未満	5.0	8.3	0.102	0.316	
				16:00	流心 (中央)	晴れ	0mm以上 5mm未満	3.9	9.0	0.061	0.140	
			平成22年3月3日	10:00	流心 (中央)	曇り	5mm以上10mm未満	10.1	11.6	0.242	0.523	
				16:00	流心 (中央)	晴れ	5mm以上10mm未満	13.1	14.0	0.205	0.602	

出典：「平成 2 1 年度 神奈川県水質調査年表」 平成23年2月 神奈川県環境科学センター

表 2-2-34(3/3) 河川流量 (平作川 : 平成 21 年度)

項目			採取年月日	採取時刻	採取位置	天候	前日天候	気温 (°C)	水温 (°C)	流速 (m/s)	流量 (m ³ /s)	測定機関
河川・調査地点	水域名称	地点名称										
平作川	河川B	夫婦橋	平成21年4月20日	9:20	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	17.7	18.6	0.057	4.271	横須賀市
				15:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	21.5	19.6	0.050	4.004	
			平成21年5月13日	9:20	流心 (中央)	曇り	0mm以上 5mm未満	23.6	21.4	0.114	9.059	
				15:20	流心 (中央)	晴れ	0mm以上 5mm未満	24.9	22.2	-0.032	-2.152	
			平成21年6月3日	9:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	22.0	21.6	0.564	39.720	
				15:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	23.5	22.4	-0.088	-7.720	
			平成21年7月8日	9:20	流心 (中央)	雨	0mm以上 5mm未満	25.4	24.6	0.171	10.880	
				15:20	流心 (中央)	雨	0mm以上 5mm未満	24.6	24.7	-0.121	-9.245	
			平成21年8月5日	9:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	28.1	26.3	0.026	1.628	
				15:20	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	27.9	27.0	-0.052	-4.668	
			平成21年9月2日	9:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	23.5	23.7	0.104	6.539	
				15:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	23.4	23.8	-0.117	-10.820	
			平成21年10月13日	9:20	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	21.7	20.5	-0.126	-10.150	
				15:20	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	23.5	22.6	0.080	7.687	
			平成21年11月19日	9:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	9.9	14.7	0.153	13.580	
				15:20	流心 (中央)	曇り	降雨なし	8.4	16.2	0.055	5.172	
			平成21年12月2日	9:20	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	13.5	17.0	0.063	5.774	
				15:20	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	18.0	16.7	-0.112	-11.930	
			平成22年1月6日	9:20	流心 (中央)	快晴	降雨なし	8.3	11.7	-0.039	-3.730	
				15:20	流心 (中央)	晴れ	降雨なし	10.3	12.7	-0.031	-2.332	
			平成22年2月3日	9:20	流心 (中央)	晴れ	0mm以上 5mm未満	4.8	10.1	0.135	11.960	
				15:20	流心 (中央)	晴れ	0mm以上 5mm未満	5.5	11.7	-0.114	-8.531	
			平成22年3月3日	9:20	流心 (中央)	曇り	0mm以上 5mm未満	9.3	12.0	0.299	23.180	
				15:20	流心 (中央)	晴れ	0mm以上 5mm未満	13.5	14.1	-0.120	-8.872	

出典 : 「平成 21 年度 神奈川県水質調査年表」 平成23年2月 神奈川県環境科学センター

(3) 地象

ア 地形

実施区域周辺の地形分類図を図 2-2-17 に示す。

本市の大部分は、大楠山、武山などの標高 200m 前後の稜線を持つ山地と丘陵地からなり、この丘陵地の東側と南側に比較的上面が平坦な台地が分布し、宅地や農地に利用されている。低地は谷部と海岸部に分布し、比較的広い低地は小田和湾と平作川流域に広がるにすぎず、東京湾岸などの海岸部には狭い低地が点在する。また、東京湾岸では埋立地が目立っている。

イ 地質

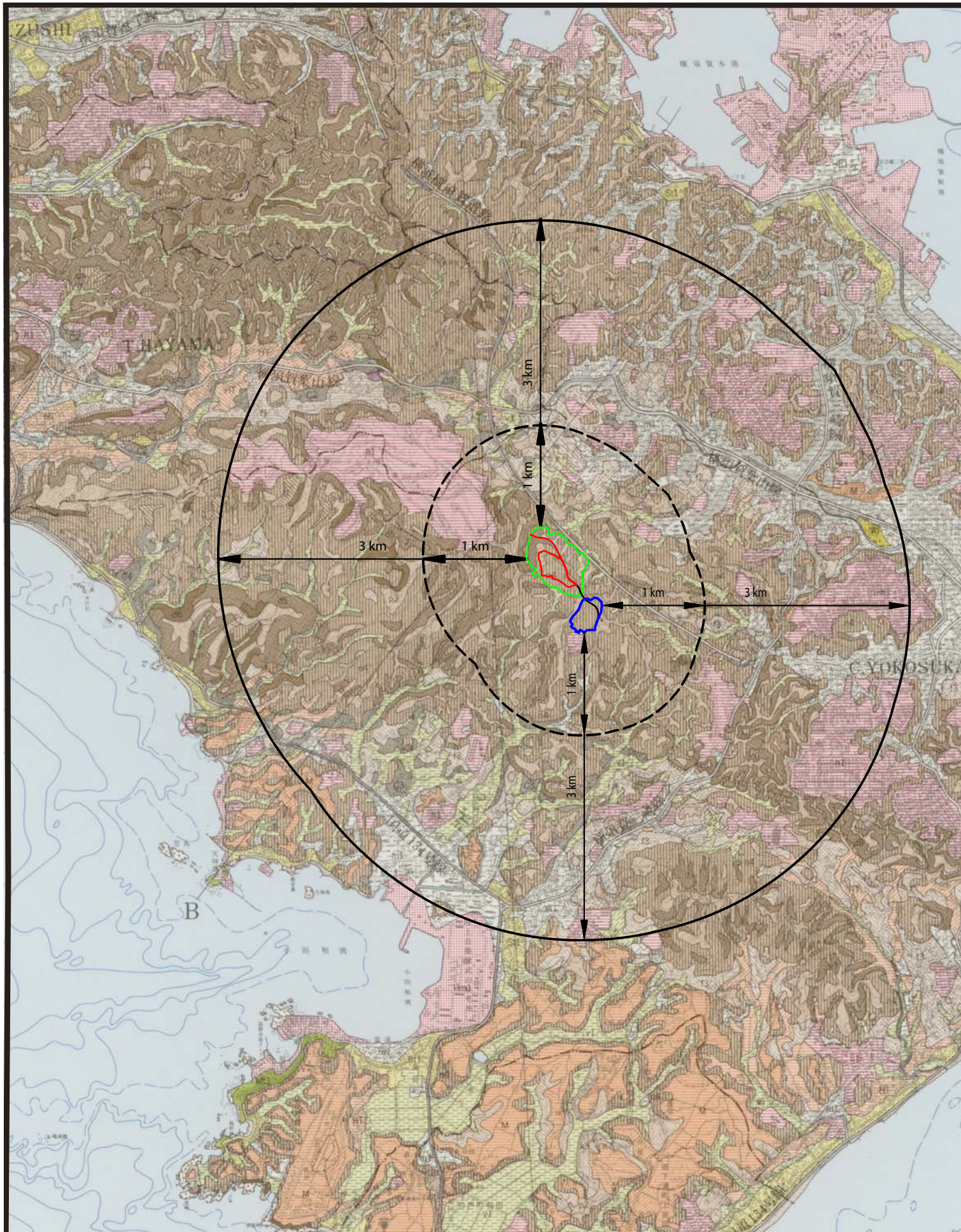
実施区域周辺の表層地質図を図 2-2-18 に示す。

本市の基盤は、数 100 万年以前に堆積した葉山層群や三浦層群と、それよりやや新しい本市北部に分布する上総層群からなっている。これらの基盤は泥岩、砂岩等の柔らかい岩石から構成されている。

丘陵地や台地の一部にはやや新しい時代の相模層群がこれらの基盤を覆っている地域もある。相模層群は砂礫や砂などからなり、本市東部の小原台地や南部の宮田台地に厚く分布している。また、台地の上部や丘陵地の頂部には富士山や箱根火山の噴火による火山灰からなる関東ローム層がところにより覆っている。

山地や台地は浸食されて部分的に谷になり、新しい堆積物によって覆われ、さらに川を流下した土砂が海岸部に堆積している。特に、平作川流域は厚さ 50m 以上に達し、軟弱層の厚い地域となっている。

また、近年では海岸部や谷部を埋めた人工地盤からなる盛土地や埋立地が目立つようになっている。盛土は泥岩やロームなどを材料として盛られ、埋立土は砂などからなっている。



凡 例

傾斜区分

斜面	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~30°	30°~40°	40°~
山頂緩斜面	p1	p2	p3			
山腹緩斜面	k1	k2	k3			
山麓緩斜面	f1	f2	f3			
一般斜面			n3	n4		
急斜面					d5	d6
山麓堆積地形						
麓斜面・崖錐		c2	c3	c4		
上石流堆	d1	d2	d3			
段丘地形						
下末吉段丘面		s	s	s		
武蔵野段丘面群		m	m	m		
完新世段丘面		ht	ht	ht		
低地の微高地						
扇状地		ln1	ln2	ln3		
自然堤防		nl1				
砂堆・砂州		st1				
低地の一般面						
谷底平野		v1	v2	v3		
海岸平野・三角州		mt1				
磯		rl				
浜		b1				

人工地形	人工地形
平坦化地	h1
旧水面上の埋立地	hm1
盛土地	m1, m2
その他	
国道・主要地方道	==
地形界	~
等深線	~

- : 廃棄物処理施設 (宅地の造成を含む)
- : 宅地の造成 (残置森林(最大範囲))
- : 発生土処分場
- : 市町界
- : 新設搬入道路
- : 既設改修道路

注) 宅地の造成(残置森林(最大範囲))には、搬入道路の新設、既設道路の改修に伴い形成される法面等を含んでいる。

出典：「地形分類図 横須賀・三崎」 昭和61年3月 神奈川県

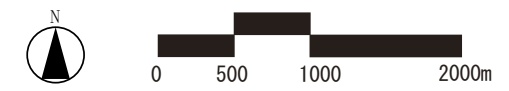
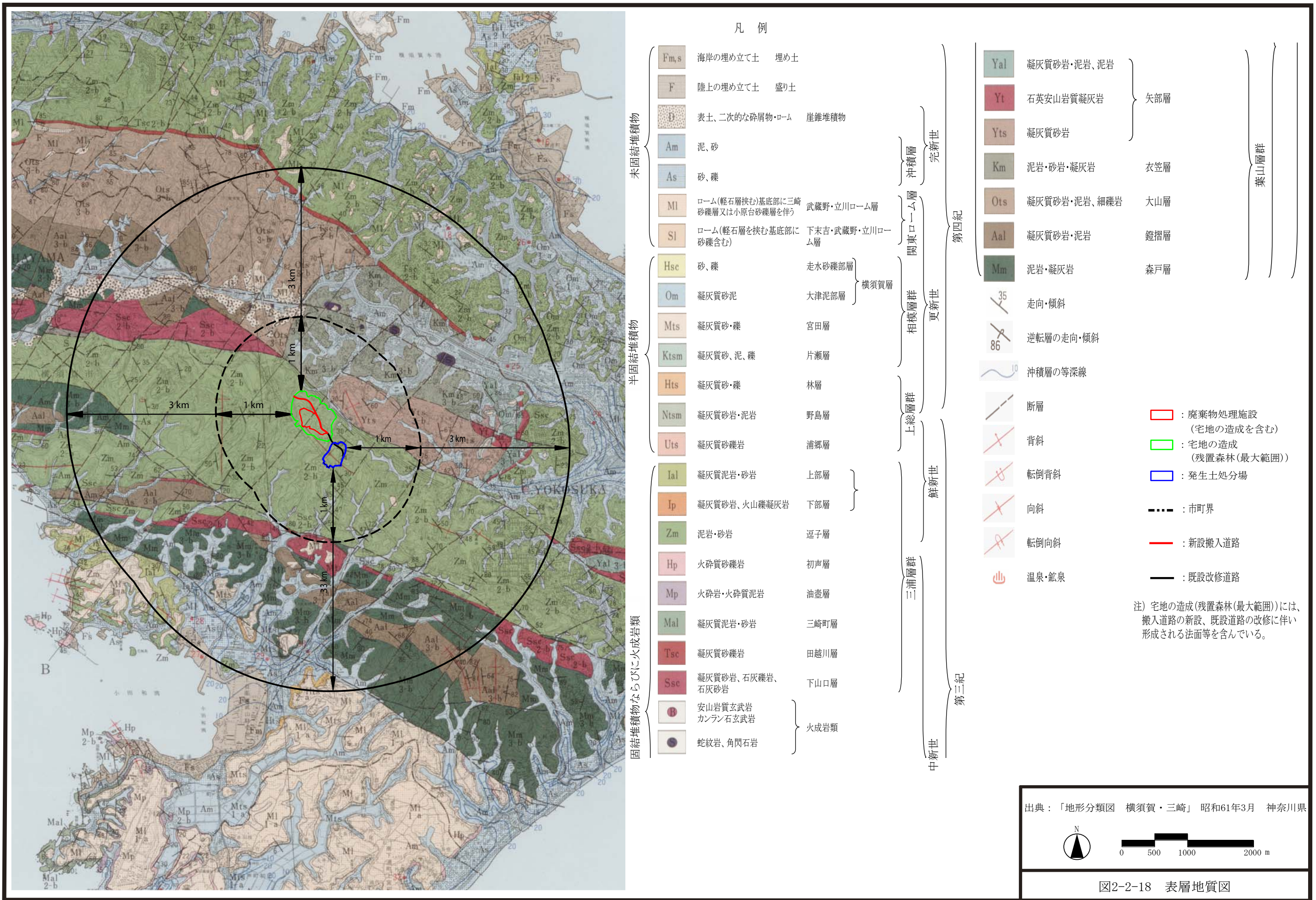


図2-2-17 地形分類図

(空白)



凡例

- | | | | | | |
|--|--|----------------------------------|---|--|--|
| <p>未固結堆積物</p> <ul style="list-style-type: none"> Fm,s 海岸の埋め立て土 埋め土 F 陸上の埋め立て土 盛り土 D 表土、二次的な碎屑物・ローム 崖錐堆積物 Am 泥、砂 As 砂、礫 Ml ローム(軽石層挟む)底部部に三崎砂礫層又は小原台砂礫層を伴う 武蔵野・立川ローム層 Sl ローム(軽石層を挟む)底部部に砂礫含む 下末吉・武蔵野・立川ローム層 <p>半固結堆積物</p> <ul style="list-style-type: none"> Hsc 砂、礫 走水砂礫部層 Om 凝灰質砂泥 大津泥部層 Mts 凝灰質砂・礫 宮田層 Ktsm 凝灰質砂、泥、礫 片瀬層 Hts 凝灰質砂・礫 林層 Ntsm 凝灰質砂岩・泥岩 野島層 Uts 凝灰質砂礫岩 浦郷層 <p>固結堆積物ならびに火成岩類</p> <ul style="list-style-type: none"> Ial 凝灰質泥岩・砂岩 上部層 Ip 凝灰質砂岩、火山礫凝灰岩 下部層 Zm 泥岩・砂岩 逗子層 Hp 火砕質砂礫岩 初声層 Mp 火砕岩・火砕質泥岩 油壺層 Mal 凝灰質泥岩・砂岩 三崎町層 Tsc 凝灰質砂礫岩 田越川層 Ssc 凝灰質砂岩、石灰礫岩、石灰砂岩 下山口層 ● 安山岩質玄武岩
カンラン石玄武岩 ● 蛇紋岩、角閃石岩 | <p>沖積層</p> <p>関東ローム層</p> <p>横須賀層</p> <p>相模層群</p> <p>上総層群</p> <p>鮮新世</p> <p>三浦層群</p> <p>中新世</p> | <p>第四紀</p> <p>更新世</p> <p>第三紀</p> | <p>Yal 凝灰質砂岩・泥岩、泥岩</p> <p>Yt 石英安山岩質凝灰岩</p> <p>Yts 凝灰質砂岩</p> <p>Km 泥岩・砂岩・凝灰岩</p> <p>Ots 凝灰質砂岩・泥岩、細礫岩</p> <p>Aal 凝灰質砂岩・泥岩</p> <p>Mm 泥岩・凝灰岩</p> <p>35 走向・傾斜</p> <p>86 逆転層の走向・傾斜</p> <p>10 沖積層の等深線</p> <p>断層</p> <p>背斜</p> <p>転倒背斜</p> <p>向斜</p> <p>転倒向斜</p> <p>温泉・鉱泉</p> | <p>矢部層</p> <p>衣笠層</p> <p>大山層</p> <p>鏡溜層</p> <p>森戸層</p> <p>葉山層群</p> | <p>○ : 廃棄物処理施設 (宅地の造成を含む)</p> <p>□ : 宅地の造成 (残置森林(最大範囲))</p> <p>■ : 発生土処分場</p> <p>--- : 市町界</p> <p>— : 新設搬入道路</p> <p>— : 既設改修道路</p> |
|--|--|----------------------------------|---|--|--|

出典：「地形分類図 横須賀・三崎 昭和61年3月 神奈川県」

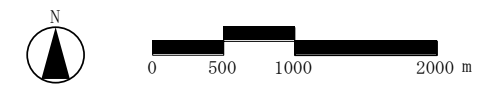


図2-2-18 表層地質図

(空白)

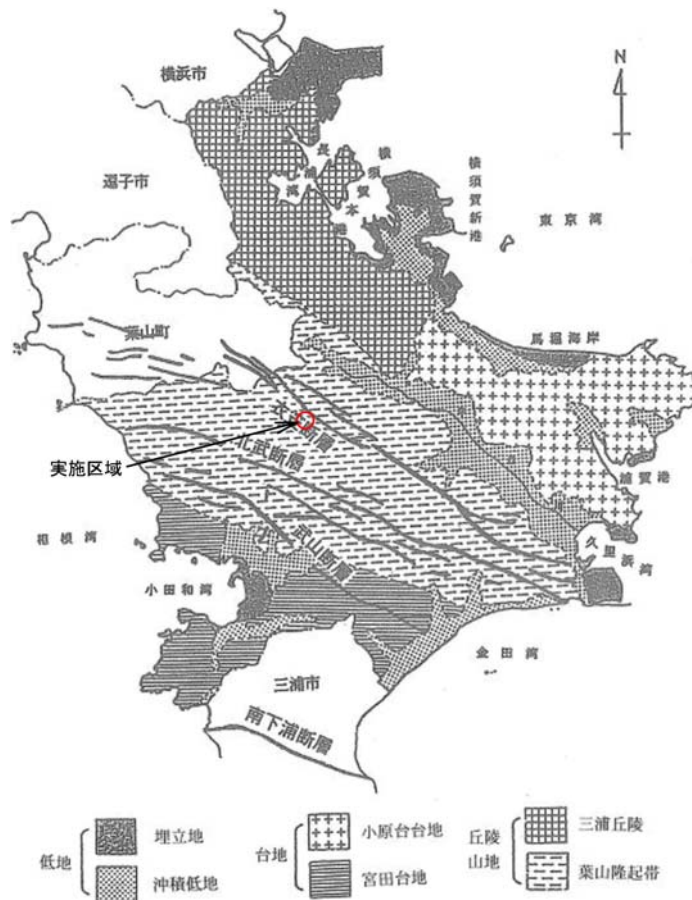
ウ 活断層

三浦半島断層群主部は、過去の活動時期の違いから、北側の衣笠・北武断層帯と南側の武山断層帯の二つに分けられる。

衣笠・北武断層帯の最新活動時期は、6～7世紀であったと考えられ、信頼度は低いとその平均的な活動間隔は概ね 1,900 年～4,900 年程度であった可能性がある。武山断層帯の最新活動時期は、概ね 2,300 年前以後、1,900 年前以前であったと考えられ、その平均的な活動間隔は 1,600 年～1,900 年程度であったと推定される。

なお、1923 年大正関東地震の際に、武山断層帯の陸域部の東端付近で、地震断層が出現したことが知られているが、地震断層が現れた範囲は 1km 程度とごく短い区間であったことから、これは関東地震に付随した活動であり、武山断層帯固有の活動ではないと推定される。

活断層の位置については、図 2-2-19 に示す。



出典：「横須賀市地域防災計画 資料編 平成 22 年度版」 横須賀市ホームページ

図 2-2-19 断層位置図